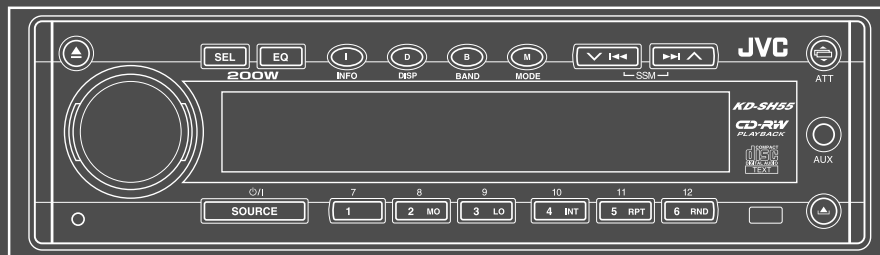
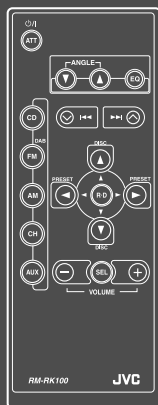


取扱説明書

JVC

KD-SH55

CDレシーバー



— お買い上げありがとうございます —

! ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0780-001A

目次

● 主な特長	2
● 安全上のご注意	3～7
● 正しくお使いいただくために	8～9
● 各部の名前と働き	10～13
● リモコン(RM-RK100)の使いかた	14～15
● 基本操作	16～17
● 時計の合わせかた	18
● 時計表示／ビープ音について	19
● 音量・音質の調節	20～21
● EQの使いかた	22～25
● EQ LINK機能について	26
● MODEボタンの使いかた	27
● CDを聞く	28～30
● ラジオを聞く	31～34
● CDチェンジャーのCDを聞く	35～37
● 他の機器の音を聞く	38～39
● 名前を表示させる	40
● 文字入力のしかた	41
● 文字配列表	42
● レベルメーターの表示切換	42
● 表示窓のモードを変える	43
● 表示窓の明るさ／コントラストを変える	44
● CDタイトルのスクロール表示のモードを変える	45
● コントロールパネルの着脱	46

● 放送局名一覧	47～51
● 市販のパワーアンプだけで鳴らすとき	51
● 保証書とアフターサービス	52
● 故障かな？と思う前に	53
● 主な仕様	54～55
● お手入れ	裏表紙

主な特長

- 3 アングル電動アルミフェイスパネル
- 50W×4chハイパワーアンプ搭載
- 音楽の臨場感を高めるイコライザー搭載
- CD-R/CD-RW対応・高音質24bit DAC内蔵ダック
- 高感度HSⅢチューナー
- リモコン(RM-RK100)付属
- プリアウト2系統(RCAピン)
- ポータブル機器が接続できるAUX-IN端子

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

警告

- 本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

- 配線作業中は、バッテリーの^{マイナス}端子のコードを外してください。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

- 本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。



・交通事故やけがの原因となります。

- 事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



・交通事故や火災の原因となります。

- 車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

- 車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・事故の原因となります。

警告

- コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

- 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電流容量オーバーにより火災の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しないでください。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

- 万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

- 自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

⚠ 注意

■本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。



・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけが・故障の原因となることがあります。

■雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

■振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避けてください。



・外れて事故やけがの原因となることがあります。

■本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。



・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

■本機を不安定なところに取り付けしないでください。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

■正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。

■車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。



・断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。



・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に異物を入れないでください。



・ 火災や感電・故障の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。



・ けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

- 本機を車載用として以外は使用しないでください。



・ 感電やけがの原因となることがあります。

- 指定の電池以外は使用しないでください。



・ 電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

- 電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れてください。



・ 間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

正しくお使いいただくために

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ずこの取付説明書の通りにしてください。

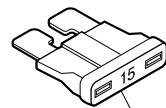
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{マイナス}側が車の金属部に接続されていたり、^{プラス}側同士が接続されていると故障の原因になります。

*BTL：Balanced Transformerlessの略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

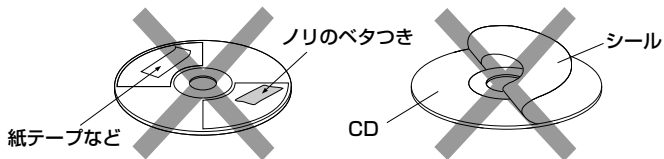
本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

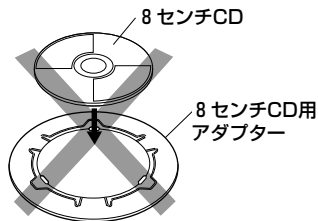
CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは**
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。
- **CD-R/CD-RWの取扱いについて**
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いので傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- **記録面やラベル面に紙テープやシールを張ったりしないでください。**
そのまま使用するとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

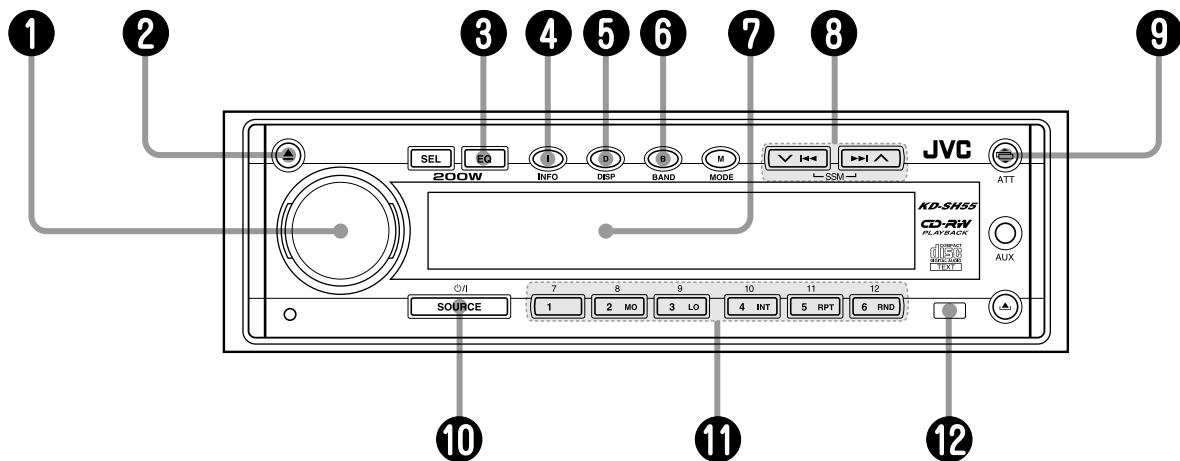


- **ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。**
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

- **8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。**
8センチCDは、そのまま挿入してください。



各部の名前と働き



1 回転ボリューム

ボリュームレベルなどが調節できます。

→16/20ページ参照

2 ▲(取出し)ボタン

CDを出し入れするとき使います。→20ページ参照

3 EQボタン

イコライザー

EQのパターンを呼び出すとき使います。→22ページ参照

4 INFOボタン

インフォメーション

道路交通情報(AM1, 620kHz)を聞くとき使います。

→34ページ参照

5 DISPボタン

ディスプレイ

表示窓の表示を変えるとき使います。→35/40ページ参照

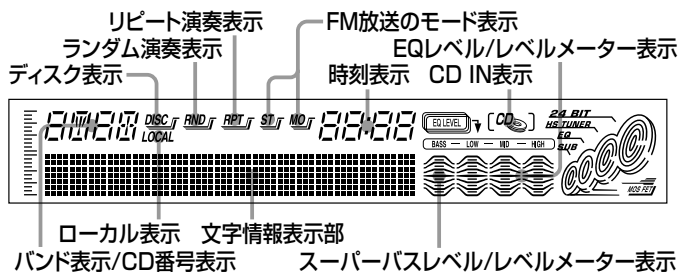
電源「切」のとき押すと、表示窓に時計が5秒間表示されます。

6 BANDボタン

バンド

ソース(音源)が「ラジオ」のとき、FMまたはAM放送の聞きたいバンドを選ぶことができます。→31ページ参照

7 表示窓



8 「ラジオ」のとき：選局ボタン(∨、∧)/SSMボタン

放送局を選局するとき使います。→31ページ参照
 ∨と∧ボタンを同時に2秒以上押すと、電波状態の良い放送局を、自動的にプリセットボタンにメモリーすることができます(SSM)。→33ページ参照

「CD」のとき：|◀◀、▶▶|ボタン
 「CDチェンジャー」

曲の頭出しや早送り、早戻しに使います。
 →30、36ページ参照

9 アッテネーター 音/ATTボタン

コントロールパネルの角度を変えたり音量を一時的に下げることができます。→16、17ページ参照

10 ソース SOURCEボタン、電源 電源ボタン

ソース(音源)を切換えたり電源の「入↔切」ができます。
 →16ページ参照

11 7 1 ~ 12 6 RND ボタン

●「ラジオ」のとき：プリセットボタン

放送局をメモリー(記憶)したり、メモリーした放送局を聞くとき使います。FM(FM1×6局、FM2×6局)、AM(AM1×6局、AM2×6局)の24局がメモリーできます。→32ページ参照

●「CD」のとき：曲番号ボタン

聞きたい曲を選ぶとき使います。→29ページ参照

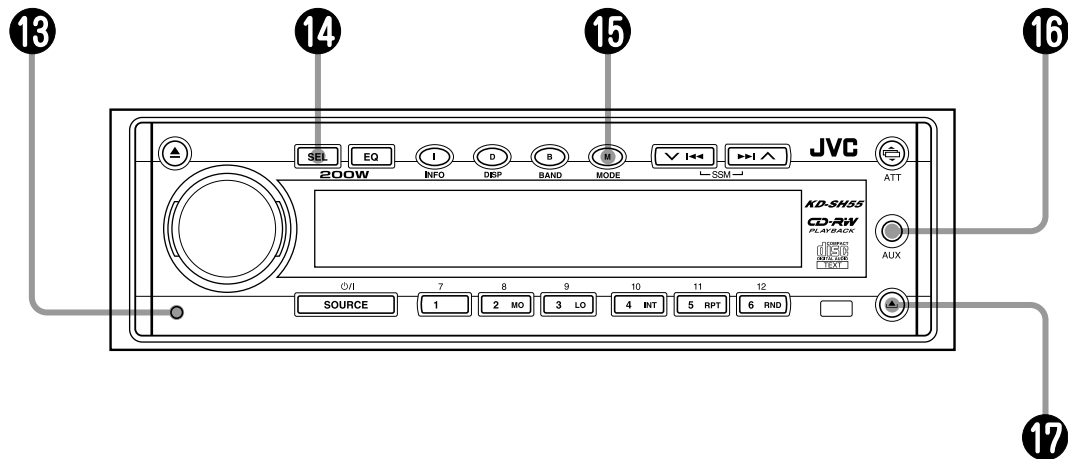
●「CDチェンジャー」のとき：CDダイレクト選択ボタン

CDチェンジャー内の聞きたいCDを直接選ぶとき使います。
 →36ページ参照

12 リモコン受光部

リモコン(RM-RK100)の信号をここで受信します。
 →14ページ参照

各部の名前と働き(つづき)



13 リセットボタン

初めて電源を入れたときまたは、どのボタンを押してもうまく動作しなくなったとき、このボタンを押して内蔵のマイコンをリセットします。

14 SELボタン

音量・音質調節のモードが選べます。押すごとに

フェーダー → バランス → スーパーバス
FAD → BAL → S.BASS

↑ ボリューム ← EXT VOL ← リリウム ↓ と変わります。

→ 20 ページ参照

● SELボタンを2秒以上押しと

お買い上げ時は「CLOCK HOUR」のモードになり時計合わせ(「時」の調節)ができます。このとき▶▶| (または|◀◀) ボタンを押すと、13 ページのモードが選べます。

13 ページの例は▶▶| ボタンを押したときです。|◀◀ ボタンでは逆に変わります。次から選んだモードが優先的に表示されます。

→ CLOCK HOUR	} : 時計合わせのモードにする →19ページ参照
↓ CLOCK MIN	
↓ EQ LINK	: EQ LINK機能の切換 →26ページ参照
↓ CLOCK DISP	: 時計表示のON/OFF切換 →19ページ参照
↓ LEVEL/EQ	: レベルメーターのモード切換 →42ページ参照
↓ DIMMER	: ディマーのモード設定 →44ページ参照
↓ BEEP SW	: ボタンを押したときの「ピッ」音切換 →19ページ参照
↓ P.AMP SW	: パワーアンプのON/OFF選択モード →別冊の取付説明書と51ページ参照
↓ CONTRAST 5	: 表示窓のコントラスト設定モード →44ページ参照
↓ SCROLL	: 名前のスクロール表示設定モード →45ページ参照
↓ STATION	: 放送局名表示の地域設定モード →40ページ参照
↓ EXT INPUT	: CDチェンジャー入力をカーAV機器のモードにする→39ページ参照
↓ AUX ADJ	: AUXの入力感度設定モード →39ページ参照
↓ IF FILTER	: IFフィルターの切換 →34ページ参照
↓ DEMO MODE	: デモモードのON/OFF切換 →43ページ参照

15 モードボタン

プリセットボタンのモードを変えることができます。MODEボタンを押したあと5秒以内に操作します。→27ページ参照

- ソース(音源)が「FM」のとき



: FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき使います。



: LOCALのオン/オフ

- ソース(音源)が「CD」「CDチェンジャー」のとき



: イントロスキャンのオン/オフ



: リピート演奏のオン/オフ



: ランダム演奏のオン/オフ

16 AUX端子(φ3.5ステレオミニ)

市販のカーAV機器などを接続します。→38ページ参照

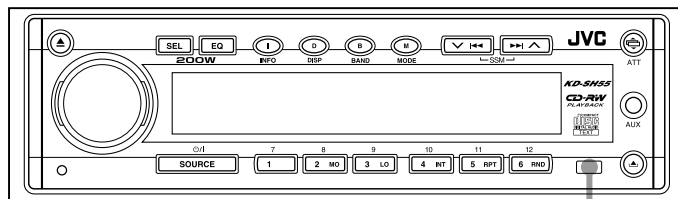
17 コントロールパネル取り出しボタン(▲)

コントロールパネルを外すとき押します。→46ページ参照

リモコン(RM-RK100)の使いかた

リモコンの使いかた

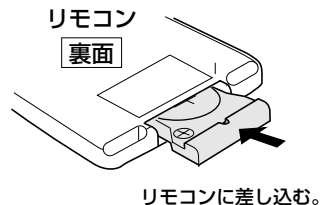
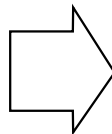
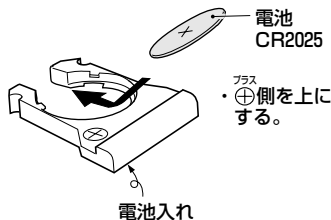
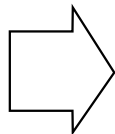
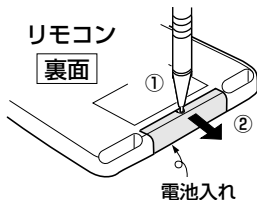
- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- 付属の電池は動作確認用です。
早めに新しい電池と交換してください。



リモコン受光部

電池の入れかた

ボールペンなどで
押して取り出す。



● 電池の交換時期(目安)は…

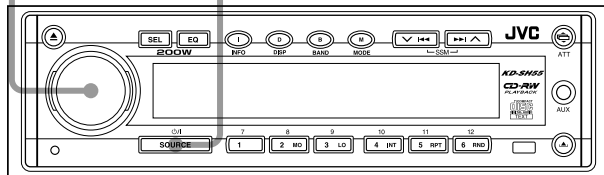
リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

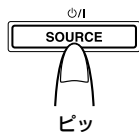
基本操作

— 番号順に操作します。 —

3 1・2

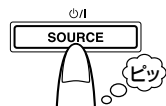


1 SOURCEボタンを押す (PUSH OPEN (電源)ボタンの機能も兼用しています)



・電源が入り、「WELCOME JVC」表示のあとソース(音源)は、お買い上げ時FM TUNER(ラジオ)になります。

●電源を「切」にする

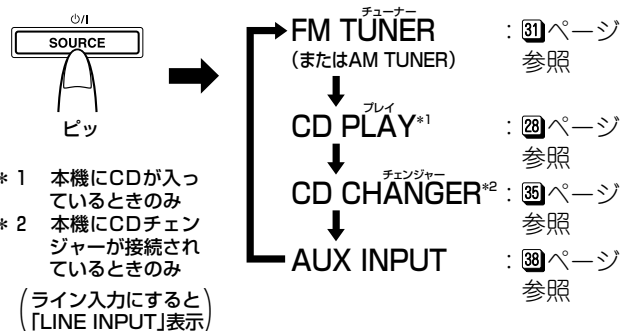


・2秒以上押す。

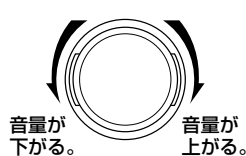
SOURCEボタンを2秒以上押します。表示窓に「SEE YOU」が表示され電源が切れます。車のエンジンを「OFF」にしたときも同じです。

2 SOURCEボタンを「ポン・ポン」と押して聞きたいソース(音源)を選ぶ

・押すごとに各ソース(音源)の名称が表示されます。



3 回転ボリュームで音量を調節する



- ・VOL. 00~50の範囲で調節できます。調節したレベルが表示窓に表示されます。詳しくは、30ページをご覧ください。
- ・回転ボリュームはポップアップ式です。押すとツマミが手前に出てきて調節しやすくなります。
- ・◎ ボタンを1秒以上押すと、表示窓に「ATT」が点滅表示され音量が一時的に下げられます。もう一度1秒以上押すと、元の音量に戻ります。

<お知らせ>

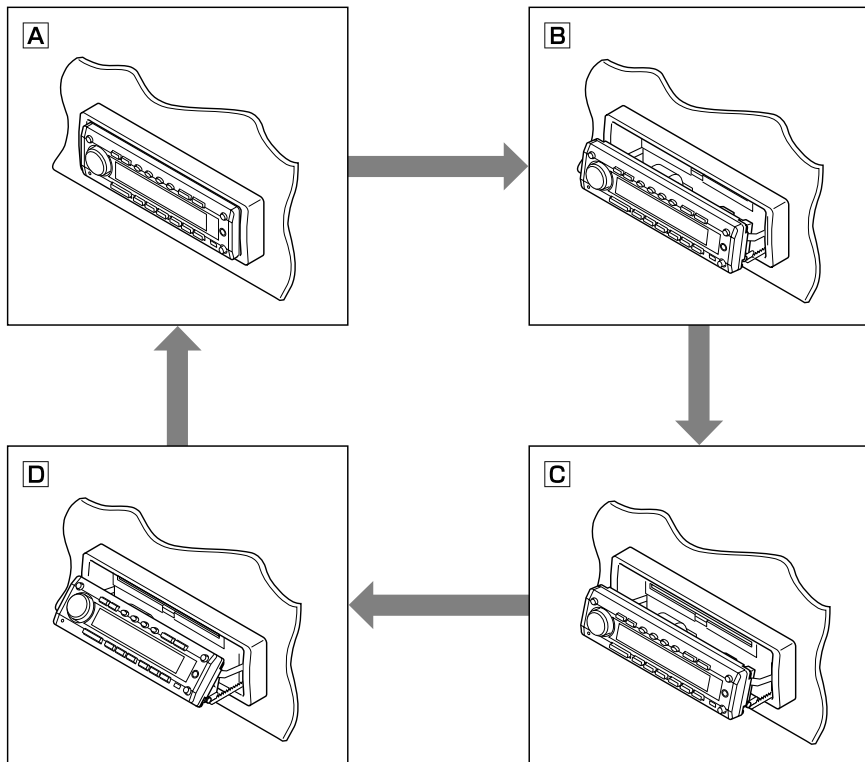
- 音量調節と時刻合わせのときは、回転ボリュームを回してもピープ音(ピッ音)は鳴りません。

コントロールパネルの角度(ANGLE)を変える



押すごとにコントロールパネルの角度が変えられます。このとき表示窓のコントラストも変わります。

操作しやすいポジションに合わせて選びます。

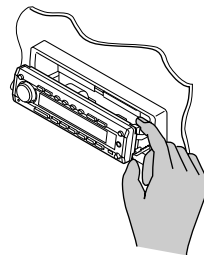


＜お知らせ＞

- リモコンのANGLE \odot ボタンを押すと、**A**→**B**→**C**→**D**の順で角度が変えられます。リモコンのANGLE \odot ボタンを押すと、**D**→**C**→**B**→**A**の順で角度が変えられます。
- コントロールパネルの角度を変えて使っているとき、電源を「切」にするといったんの状態に戻ってから電源が切れます。再び電源を入れると、元の角度に戻ります。

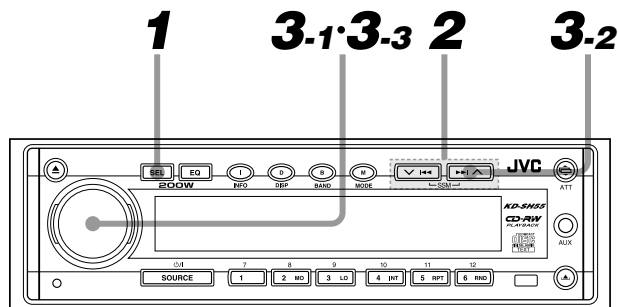
ご注意

- コントロールパネルが閉まる時指を挟まれないよう注意してください。万一、挟まれてしまったときは無理に引き抜かないでください。3秒後に「ピッピッピッ」音のあと、「Err 06」が表示されコントロールパネルが元に戻ります。



時計の合わせかた

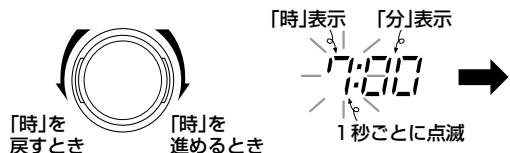
— 本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。 —



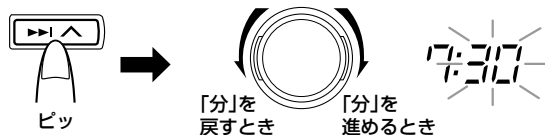
3 回転ボリュームと▶▶Iボタンで現在時刻に合わせる (時刻表示点滅中に操作します)

例：7時30分に合わせるとき(12時間表示方式です)

3-1 「時」を合わせる



3-2 [CLOCK MIN]を 表示させる



- ・時刻合わせが終わったあと、15秒で自動的に元のソース(音源)表示に戻ります。すぐに戻りたいときはSELボタンを「ボン」と押します。
- ・時刻を合わせ直すときも2~3の操作をします。
- ・お買い上げ時は、時計が表示されるようになっています([CLOCK ON]の状態)。表示されないようにすることもできます。→④ページ参照
- ・バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れると、設定した時刻は取り消されます。もう一度時刻合わせをしてください。

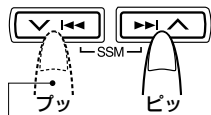
1 SELボタンを2秒以上押す



・2秒以上押す。

- ・お買い上げ時は「CLOCK HOUR」が表示されます。→手順3の操作へ
- ・それ以外のときには選ばれているモードが表示されます。

2▶▶I(または◀◀)ボタンを「ボン・ボン」と押して「CLOCK HOUR」を選ぶ



→ CLOCK HOUR

・逆に選べます。

時計表示／ビープ音について

時計が表示されないようにする

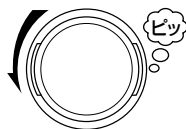
表示窓に時計が表示されないようにすることができます。

1 SELボタンを2秒以上押す



2 ▶▶| (または|◀◀) ボタンを「ポン・ポン」と押し て「CLOCK DISP」を選ぶ

3 回転ボリュームを左方向に回して 「CLOCK OFF」にする



・右方向に回すと「CLOCK ON」に戻せます。

・「CLOCK OFF」にすると、表示窓に時計が表示されなくなります。
(CDを聞くととき時刻表示部に曲番号) が表示されます

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

ボタンを押したときの「ピッ」音を、鳴らなくする

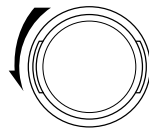
ボタンを押したときの「ピッ」音を、鳴らなくすることができます。

1 SELボタンを2秒以上押す



2 ▶▶| (または|◀◀) ボタンを「ポン・ポン」と押し て「BEEP SW」を選ぶ

3 回転ボリュームを左方向に回して「BEEP OFF」 にする

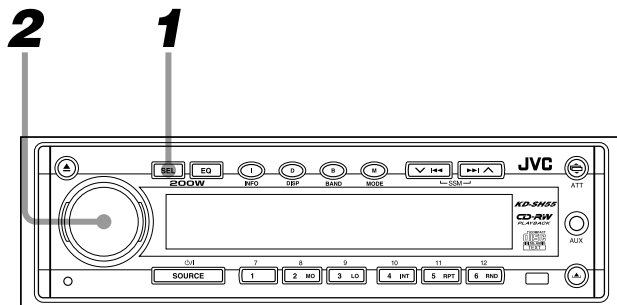


・「BEEP OFF」にすると、ボタンを押したときの「ピッ」音が鳴らなくなります。
(鳴るように戻すときは、回転ボリューム) を右方向に回して「BEEP ON」にします

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

音量・音質の調節



〈お知らせ〉

- フェーダー調節は4スピーカー接続のときのみ調節してください。

1 SELボタンを押して調節したいモードを選ぶ

・「ボン・ボン」と押すごとに表示窓に表示されます。



・「ボン」と押す。



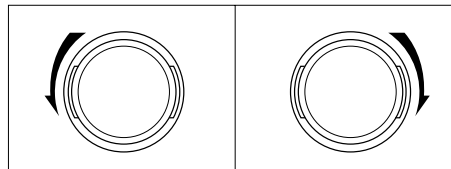
ただし、VOL (音量)のみ調節したいときは、直接回転ボリュームで調節できます。

5秒以内に

2 回転ボリュームを回して調節する

・調節したレベルが表示窓に表示されます。

- FADとBALのレベルを00 (センター)に戻すと、「ピッ」音が鳴りません。



VOL (音量)	音量が下がる。	音量が上がる。
FAD (フェーダー)	フロントの音量が下がる。	リアの音量が下がる。
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる。	左チャンネルの音量が下がる。
S.BASS (スーパーバス)	重低音が下がる。	重低音が増強される。
EXT VOL (エクスターナル音量)	エクスターナル音量が下がる。	エクスターナル音量が上がる。

- 調節が終わってから5秒後に、表示窓は前の表示に戻ります。

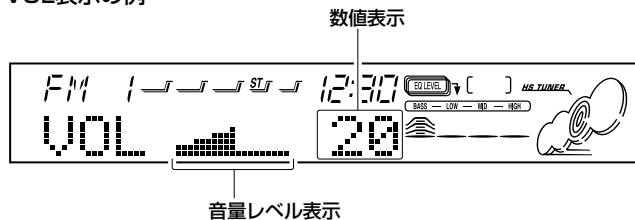
● 初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
VOL(音量)	15	00~50
FAD(フェーダー)	00(センター)	リア R06 ~ フロント F06
BAL(バランス)	00(センター)	レフト L06 ~ ライト R06
S.BASS(スーパーバス)	00	00~08
EXT VOL(エクスターナル音量)	07	00~12

〈お知らせ〉

- EXT VOL 07でライン出力とEXT OUT出力が同じになります。EXT VOL 00にするとEXT OUTから音が出なくなります。
- EXT OUT端子からの出力は、本機のフェーダー調節とは連動していません。サブウーハーを接続するときは、必ずフィルター内蔵のアンプ等を使用してください。

・VOL表示の例

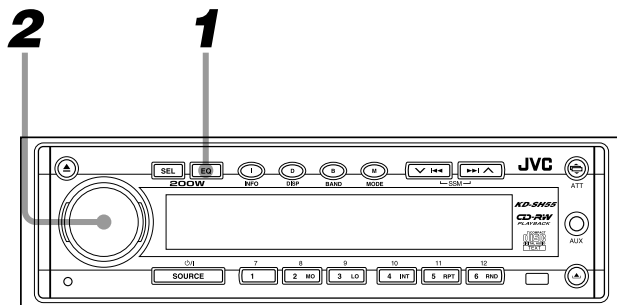


● 音量調節について

CDの演奏は、無音状態での雑音がほとんどありません。気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがあります。電源を切る前に音量を下げておき、演奏がスタートしてから適度な音量に合わせてください。

EQ*の使いかた

・本機には、あらかじめ8つのEQパターンがメモリーされています(これをメーカープリセットといいます)。



〈お知らせ〉

- **Hard Rock**～**Classic**には、ご自分で調節したEQパターンはメモリーできません。
- **USER_1**～**USER_3**には、ご自分で調節したEQパターンがメモリーできます。➡23ページ参照
お買い上げ時は**FLAT**と同じEQパターンになっています。またリセットの操作をすると調節した内容は、お買い上げ時の状態に戻ります。

*EQは：

Equalizer(イコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称。

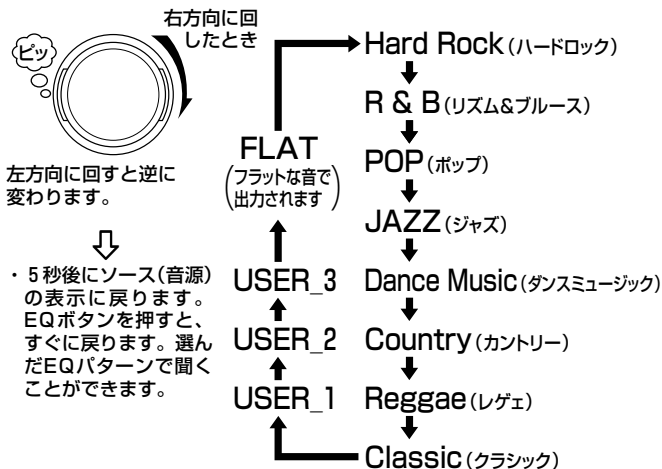
●メーカープリセットの呼び出し

1 EQボタンを押す

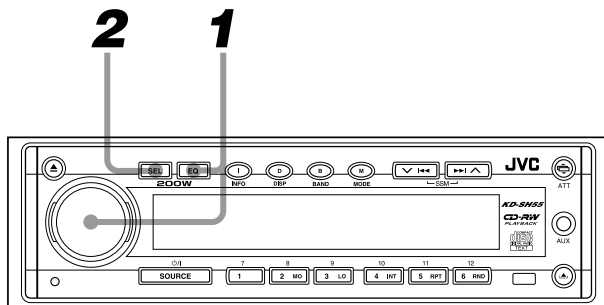


・設定されているEQパターン(お買い上げ時は「FLAT」)が表示されます。

2 回転ボリュームでEQパターンを選ぶ



EQパターンを調節する



● 調節したEQパターンをメモリーする

調節したEQパターンの内容をメモリーするときは、手順4が終了したら必ず24ページの手順5以降の操作でメモリーしてください。メモリー操作をしないと、元のEQ設定値に戻ります。

1

 EQボタン→回転ボリュームでEQパターンを選ぶ(→24ページ参照)

2

 SELボタンで調節したい項目を選ぶ

・各操作は15秒以上間隔をあげないでください。



ピッ

- ・押すごとに、各帯域の周波数、バンド幅またはレベルが選べます。
- ・SELボタンを押したあと▶▶1(または◀◀)ボタンを押すと、

LOW FREQ

↓
MID FREQ

↓
HIGH FREQ

の切換えができません。

ロー フリケンシー 中心周波数
LOW FREQ* : 低域(50Hz/80Hz/120Hz)

↓
LOW WIDTH : 低域(1/2/3/4)

↓
LOW LEVEL : 低域(0 ± 6)

↓
MID FREQ : 中域(700Hz/1 kHz/2 kHz)

↓
MID WIDTH : 中域(1/2)

↓
MID LEVEL : 中域(0 ± 6)

↓
HIGH FREQ : 高域(8 kHz/12kHz)

↓
HIGH LEVEL : 高域(0 ± 6)

*FREQは：
FREQUENCY(フリケンシー)の
略字。

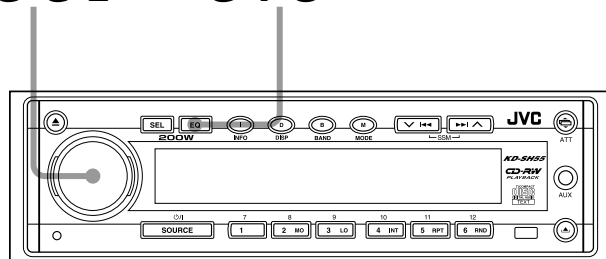
24 ページへ続く

EQの使いかた(つづき)

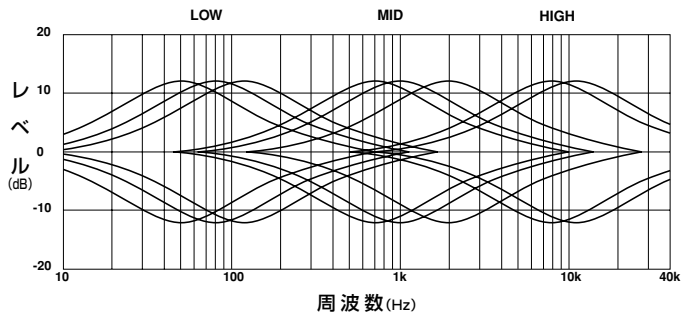
EQパターンを調節する(つづき)

3・5・2

5・1・6

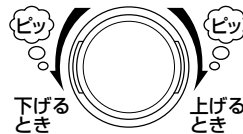


● EQパターンの各帯域ごとの変化特性図



3 回転ボリュームで各項目を調節する

LOW (低域)	FREQ	50Hz↔80Hz↔120Hz
	WIDTH	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4
	LEVEL	0 ± 6
MID (中域)	FREQ	700Hz↔1 kHz↔2 kHz
	WIDTH	1 ↔ 2
	LEVEL	0 ± 6
HIGH (高域)	FREQ	8 kHz↔12kHz
	LEVEL	0 ± 6



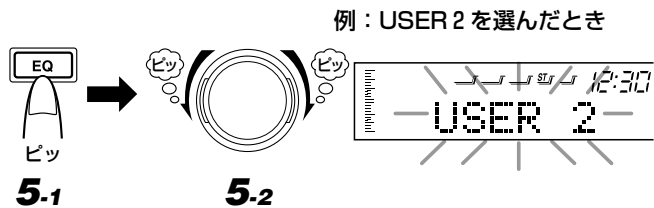
- ・ 中心周波数は帯域ごとに選べます。そのあとSELボタンを押してバンド幅とレベルを調節します。調節した内容が表示窓に表示されます。
- ・ レベルは± 2 dBずつ調節できます。

4 手順2と3をくり返し、各帯域の項目を調節する

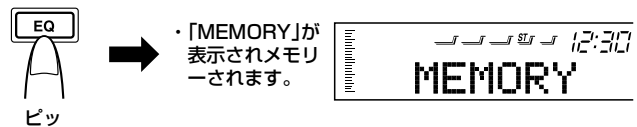
25 ページへ続く

●メモリーしておくとき

5 EQボタン→回転ボリュームで「USER1～USER3」のいずれかを選ぶ



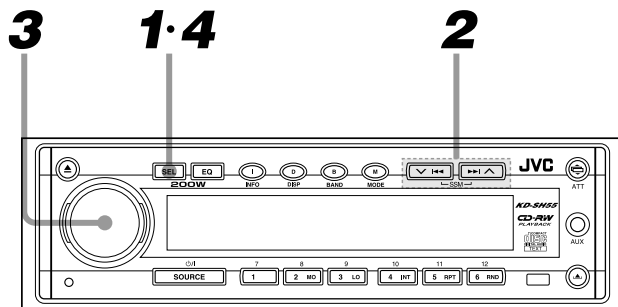
6 EQボタンを押す→調節したEQパターンがメモリーされます



EQ-LINK機能について

EQ-LINK機能について

EQ-LINK(イコライザーリンク)とは、各ソース(音源)ごとにEQおよびBASSを調節し本機にメモリーしておける機能のことです。お買い上げ時は、「EQ LINK OFF」に設定されており各ソース(音源)とも同じEQおよびBASSの内容になります。

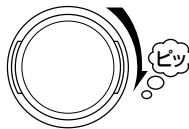


- EQ-LINK^{リンク}機能を「オン」にする

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを「ポン・ポン」と押して「EQ LINK」を選ぶ

3 回転ボリュームを右方向に回して「EQ LINK ON」にする



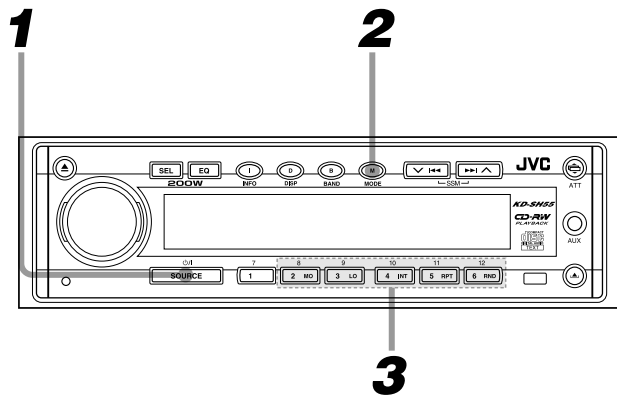
- ・「オン」にすると各ソース(音源)ごとにEQおよびBASSをプリセットすることができます。お買い上げ時は、各ソース(音源)ともEQ: FLAT、BASS: 00になっています。
- ・「EQ LINK OFF」に戻すときは、回転ボリュームを左方向に回します。

4 SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)表示に戻ります。

MODEボタンの使いかた

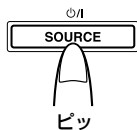
— 番号順に操作します。 —



＜お知らせ＞

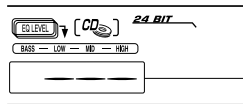
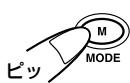
- MODEボタンを押したあと、5秒以上何もしないとソース(音源)の表示に戻ります。もう一度操作し直してください。

1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を選ぶ



・「FM TUNER」、「CD PLAY」または「CD CHANGER」のいずれかの表示を選びます。これ以外は機能しません。

2 MODEボタンを押す

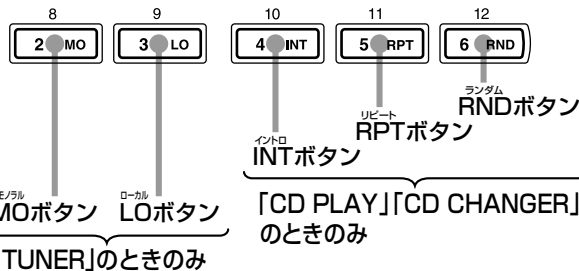


カウントダウン表示(5秒間)

5秒以内に

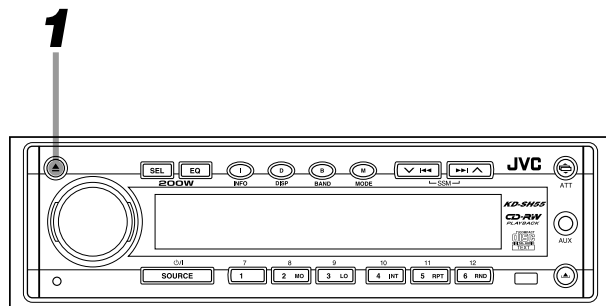
3 プリセットボタンを押して使いたいモードを選ぶ

・プリセットボタンが、一時的に以下の働きに変わります。



CDを聞く

— 番号順に操作します。 —

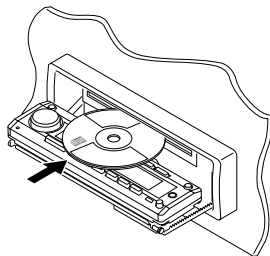


〈お知らせ〉

- 文字のある面に または 、、 のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。



● CDを入ると…

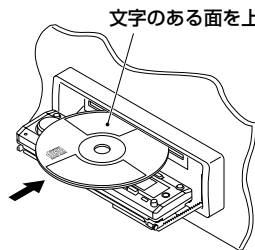
ソース(音源)は、自動的に「CD」になりCD PLAYが表示され演奏がスタートします。またCD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。

1 ▲(取出し)ボタンを押す



- 電源が入りCDの挿入口が現われます。
(60秒以内にCDを入れないと「ビッピ・ビッピ・ビッピ…」音のあと、自動で閉まります)

2 CDを入れる → 途中まで入れると自動で中に引き込まれ演奏がスタート

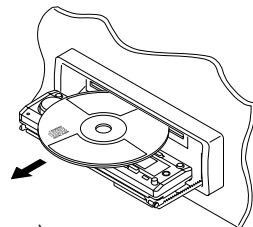


→ 01 00' 05"

- ソース(音源)が「CD」になりCD PLAYが表示され曲数と演奏時間になったあと、1曲目から演奏が始まります。
- CDが入っていることを表す が表示されます。

● CDを取り出すときは

▲(取出し)ボタンを押します。CDの挿入口が現われ、CDが出てきたのちCDを入れる前のソース(音源)に戻ります。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。



(演奏中だったCDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動的に中に引き込まれます)

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置しないでください。
- MP3には対応していません。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- 本機は半角の英数字に限り対応しております。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

CDテキストについて



「CDテキスト」は、今までの音楽CDにアルバムタイトルや曲名、アーティスト名などの文字情報を追加した、音楽CDの機能です。

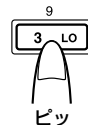
本機にCDテキスト対応のCDを演奏するとアルバムファセットや数字で「CDテキスト」データを表示します。DISPボタンを押すと表示が変わります。

ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。
例：11曲目のとき



- 13曲目以上は
演奏中に▶▶▶ボタンを押して聞きたい曲番号を選びます。
→▶▶▶ページ「スキップ演奏」参照

CDの盗難防止



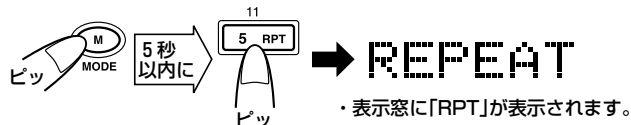
- 同時に2秒以上押す。

「NO EJECT」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されCDの取り出しができます。

CDを聞く(つづき)

1 曲リピート演奏(くり返し演奏)

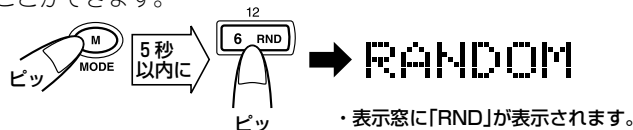
演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



- ・「REPEAT」を表示させる。
もう一度同じ操作をすると、
解除されます。

ランダム演奏

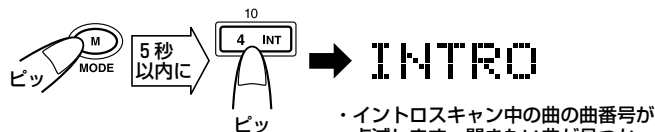
演奏中のCDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



- ・「RANDOM」を表示させる。
もう一度同じ操作をすると、
解除されます。

イントロスキャン

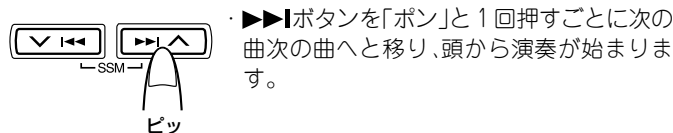
イントロスキャン中は、曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキャンを解除します。



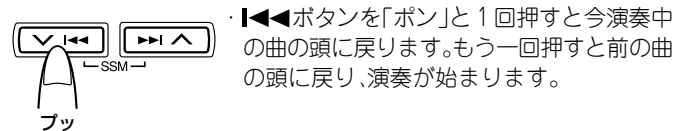
- ・「INTRO」を表示させる。もう一度同じ操作をすると、解除されます。

スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞く



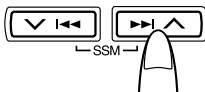
●演奏中に前の曲を聞く



サーチ演奏(早送り・早戻し)

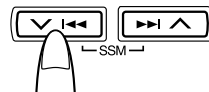
- ・演奏中のCDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。

●早送り



▶▶Iボタンを押し続ける

●早戻し



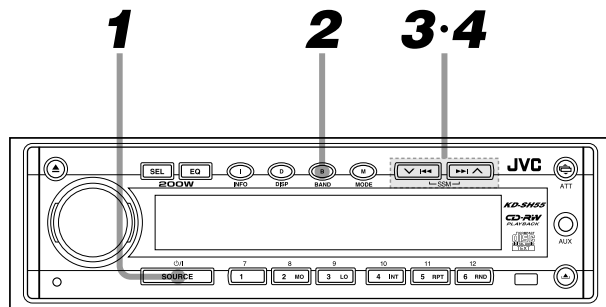
I<<<ボタンを押し続ける

サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すと普通の演奏に戻ります。

ラジオを聞く — 番号順に操作します。—

マニュアル選局

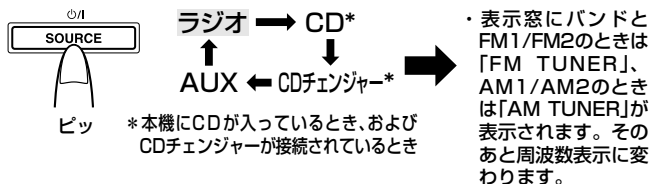
電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときに使います。



● マニュアル選局のモードは…

選局の操作から5秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。シーク選局(⇒32ページ参照)のモードになります。

1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を「ラジオ」にする



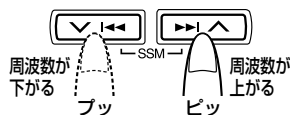
2 BANDボタンでバンドを選ぶ



3 選局ボタン(∧または∨)を1秒以上押してマニュアル選局のモードにする



4 選局ボタン(∧または∨)で放送局に合わせる



	受信周波数
FM放送	76.0MHz~90.0MHz
AM放送	522kHz~1,629kHz

・1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

ラジオを聞く(つづき) — 番号順に操作します。 —

プリセット選局

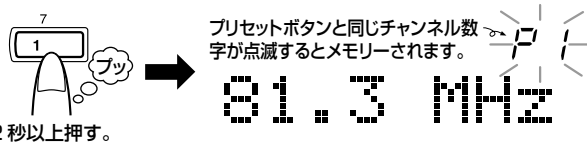
本機は、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な放送局の呼び出しができます。

- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタン⁷にメモリーするには…

1 BANDボタンで「FM1」を選ぶ → FM 1

2 選局ボタン(▲または▼)で希望の放送局に合わせる

3 プリセットボタンの「⁷」を2秒以上押す



- ・バンドごとに6局ずつメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

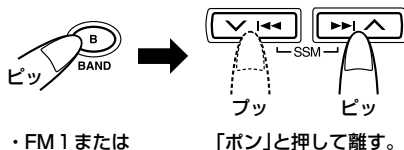
ご注意

- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れるとメモリーした局や時刻の設定は、すべて取り消されます。このようなときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

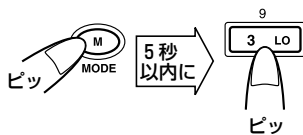
シーク選局(自動選局)

「M」が表示窓に表示されていないときは、選局ボタン(▲または▼)を「ボン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。これをシーク選局(自動選局)といいます。希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

例：FM放送のとき



LOボタンの使いかた(FM放送のみ)



- ・シーク選局と組み合わせると便利です。「LOCAL」表示中にシーク選局をすると、電波の弱い放送局を飛ばして選局することができます。

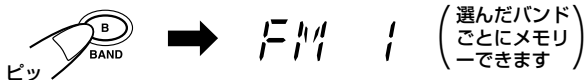
SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

チューナーが自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。

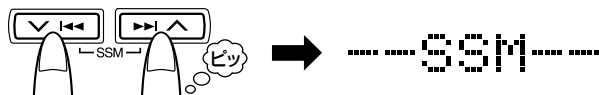
旅行先などで放送局を探すときに便利です。

●操作例：FM 1 にメモリーするとき

1 BANDボタンでバンドを選ぶ(FM 1 にする)



2 選局ボタンの△と▽を同時に2秒以上押す



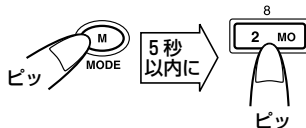
・「SSM」を表示させる。

・チューナーが放送局を探し、自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に、プリセットボタンの(1)～(6)にメモリーしていきます(前のメモリー内容は取り消されます)。

3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

・プリセットボタン(1)～(6)を押して聞きたい放送局を選びます。(放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります)

FM放送が雑音で聞きにくいときは



FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送の受信モードを切替えます。表示窓に「MO」が表示されモノラル受信モードになり、聞きやすくなります。電波状態が良好になったらもう一度同じ操作でオート受信モードに切替え、「ST」表示に戻してお使いください。

アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、**オートアンテナ**コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。“CDチェンジャー”や“CD”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(**オートアンテナ**の最大コントロール電流は250mAです)

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く



高速道路などの特定地域では、AM1,620kHzで道路交通情報を聞くことができます。
聞きたいところで**INFO**ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1,620kHzが受信できます。

INFO 1620

- **INFO**ボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合にのみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中に**INFO**ボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量が**INFO**ボタンにメモリーされます。
- 電源を入れることもできます。

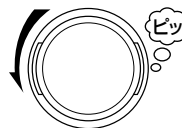
IFフィルターを切替える(FM放送のみ)

本機のチューナーは、電波の強さや隣接妨害波などにより自動でIFフィルターを切替えています。「**WIDE**」にすることもできます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶I(または◀◀)ボタンを「ポン・ポン」と押し て「IF FILTER」を選ぶ

3 回転ボリュームを左方向に回して「**WIDE**」にする



・右方向に回すと「**AUTO**」に戻ります。

AUTO : 隣接妨害波の有無によって自動でフィルターの帯域幅を変える。(お買い上げ時の状態)

WIDE : 電波状態が良いとき(広い帯域幅のフィルター)

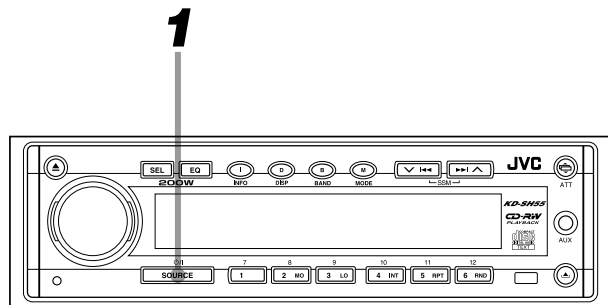
4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

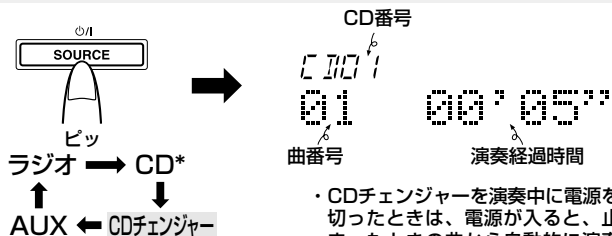
CDチェンジャーのCDを聞く

— 番号順に操作します。 —

全曲演奏 — CDチェンジャー内のマガジンにはあらかじめCDを入れておいてください。 —



1 SOURCEボタンを押してソース（音源）を「CDチェンジャー」にする⇒演奏がスタート



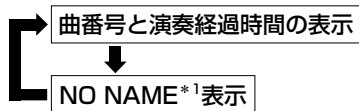
*本機にCDが入っているとき

・CDチェンジャーを演奏中に電源を切ったときは、電源が入ると、止まったときの曲から自動的に演奏が始まります。

CD演奏中の表示内容を変える



・押すごとに変わります。切換中は時計表示が曲番号表示に変わります。



*1 CD TEXTのディスク名の表示、曲名の表示に対応しているCDチェンジャーは発売しておりません。「NO NAME」表示は、5秒後に演奏経過時間の表示に戻ります。文字入力でCDのディスク名が入力してあるときは、ディスク名を表示します。⇒[44](#)ページ参照

●最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のCDの演奏が始まります（全マガジン内のCDのくり返し演奏になります）。

●演奏を途中でやめる
SOURCEボタンを押して他のソース（音源）に切替えます。

●SOURCEボタンを押しても「CDチェンジャー」に切替えができないときは…

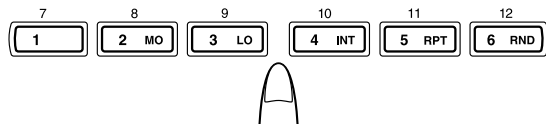
本機のソース（音源）を「LINE INPUT」から「CDチェンジャー」に変えます。⇒[39](#)ページ参照

ラジオを聞く(つづき)・CDチェンジャーのCDを聞く

CDチェンジャーのCDを聞く(つづき)

CDダイレクト選択ボタンの使いかた

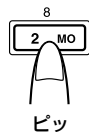
聞きたいCDが分かっているときは、CDダイレクト選択ボタンを使うと便利です。CDが選ばれると、選んだCDの1曲目から演奏が始まります。



聞きたいCDが入っているディスクトレイの番号に合わせてボタンを押します。(マガジンの下から順に1・2・3…となっています)

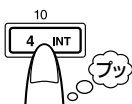
- ・ 1～6枚目を選ぶときは：大きく表示されている番号のボタンを「ボン」と押します。

例：2枚目のとき



- ・ 7～12枚目を選ぶときは：小さく表示されている番号のボタンを1秒以上押します。

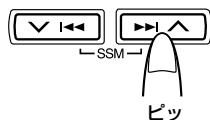
例：10枚目のとき



- ・ 1秒以上押す。

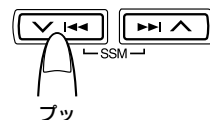
スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞く



- ・ ▶▶ボタンを「ボン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

●演奏中に前の曲を聞く

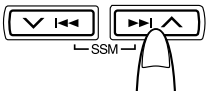


- ・ ◀◀ボタンを「ボン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- ・ 演奏中のCDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。

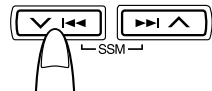
●早送り



▶▶ボタンを押し続ける

サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すとふつうの演奏に戻ります。

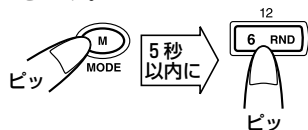
●早戻し



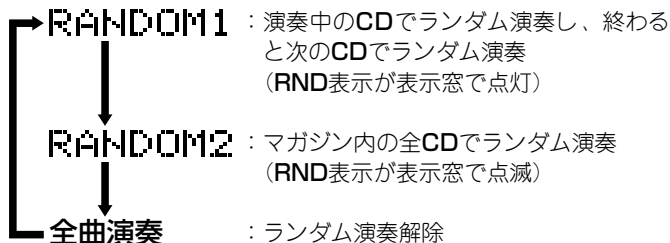
◀◀ボタンを押し続ける

ランダム演奏

- CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。

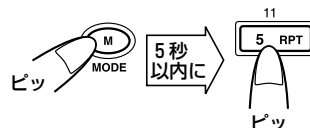


- 「RANDOM1」を表示させる。
- RNDボタンを押すごとに次のように動作します。

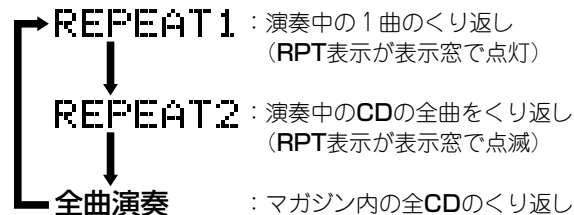


リピート演奏(くり返し演奏)

- 演奏中の曲をくり返して聞くことができます。

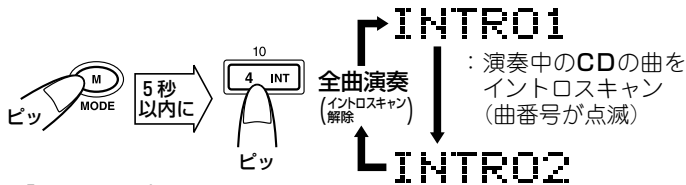


- 「REPEAT1」を表示させる。
- RPTボタンを押すごとに次のように動作します。



イントロスキャン

- 聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏します。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀ボタンを押します。

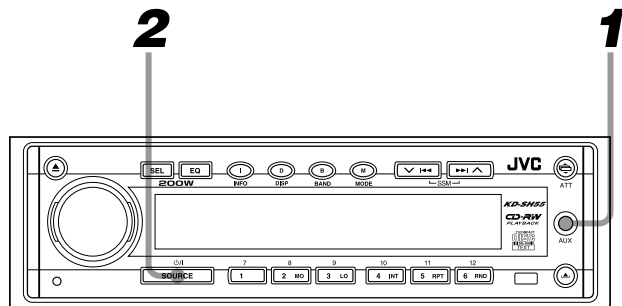


- 「INTRO1」を表示させる。
- INTボタンを押すごとに次のように動作します。

全曲演奏 (イントロスキャン解除)

他の機器の音を聞く

— 番号順に操作します。 —



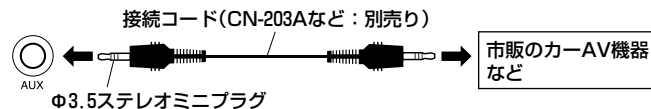
〈お知らせ〉

●他の機器の音が小さいときは

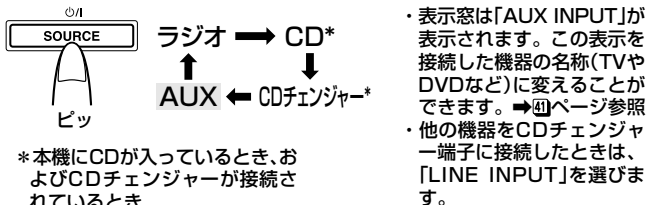
SELボタンを2秒以上押し、その後▶▶Iボタンで「AUX ADJ」を選ぶと、AUX端子の入力感度を変えることができます。→38ページ参照

- 他の機器(RCAの2チャンネル出力端子付)は、変換コード:KS-U57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子に接続することもできます。39ページを参照し、本機のソース(音源)を「LINE INPUT」に変えてからお使いください。「CD CHANGER」表示が「LINE INPUT」表示に変わります。すでにCDチェンジャーが接続されている場合は、ご利用になれません。

1 他の機器をAUX端子に接続する



2 SOURCEボタンを押してソース(音源)を「AUX」にする



*本機にCDが入っているとき、およびCDチェンジャーが接続されているとき

3 接続した機器を演奏状態にする

●接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

AUX端子の入力感度を調節する

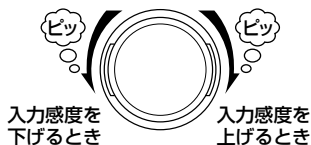
AUX端子に接続した他の機器の音が小さすぎるときは、入力感度を調節します。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶| (または|◀◀) ボタンを「ポン・ポン」と押し て「AUX ADJ」を選ぶ

・5秒後に「A. ADJ 00」に変わります。

3 回転ボリュームボタンでAUXの入力感度を調 節する



・調節範囲は
A. ADJ 00～05です。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

CD CHANGERのソース(音源)を変更する

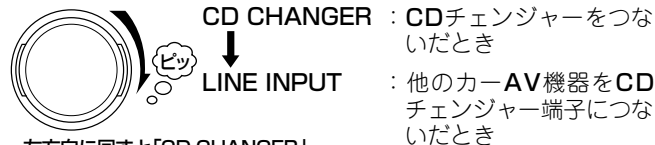
CDチェンジャー端子に他のカーAV機器を接続したときは、CD CHANGERのソース(音源)を「LINE INPUT」に変えます。

1 ソース(音源)を「ラジオ」にする

2 SELボタンを2秒以上押す

3 ▶▶| (または|◀◀) ボタンを「ポン・ポン」と押し て「EXT INPUT」を選ぶ

4 回転ボリュームを右方向に回して 「LINE INPUT」にする



・左方向に回すと「CD CHANGER」
に戻せます。

5 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

＜お知らせ＞

- ・ソース(音源)が「CDチェンジャー」のときは、手順3のとき「EXT INPUT」になりません。

名前を表示させる

放送局名を自動で表示させる

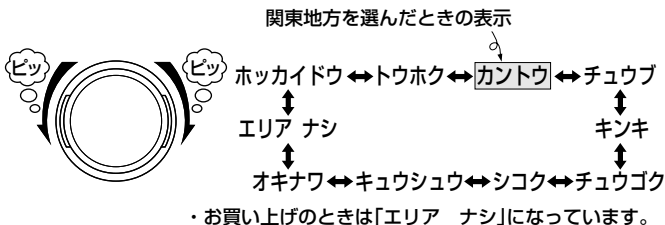
本機をご利用になる地域の放送局を受信したときは、自動で放送局名を表示させることができます。

放送局名と表示名は、**47**～**51**ページをご覧ください。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶I(または◀◀)ボタンを「ポン・ポン」と押し て「STATION」を選ぶ

3 回転ボリュームを回してご利用の地域を選ぶ



4 SELボタンを押す

・放送局名が表示されるようになります。

表示の概要

放送局名やディスク名などを表示することができます。

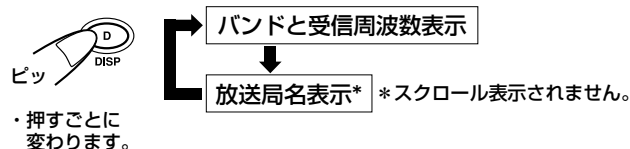
ソース(音源)	表示する名前	文字数
ラジオ	放送局名	30局分を最大10文字ずつ(自動で表示するときは含まず)
CDまたはCDチェンジャー	ディスク名	最大32文字(CD40枚まで)
AUX	他の機器名	最大10文字

〈お知らせ〉

- ・自動表示の放送局名を変更すると、メモリー数は30局より減りません。

放送局名を表示させる

ラジオを聞いているとき、放送局名を表示させるにはDISPボタンを使います。「放送局名を自動で表示させる」のあとで操作します。



文字入力のしかた

文字の入力のしかた(修正・削除)

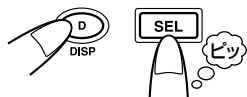
文字を入力したいときは、次の手順で入力します。入力した文字を修正(削除)するときも同じ操作になります。ラジオは30局分を最大10文字まで入力できます。またCD、CDチェンジャーは最大32文字、AUXは最大10文字まで入力できます。

1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を選ぶ

・ラジオまたはCD、CDチェンジャー、AUXのいずれかにします。

2 DISPを押したままSELボタンを同時に2秒以上押す

例：ラジオを選んだとき



・押したまま…

点滅(カーソルといいます)



30秒以内に

3 DISPボタンで文字の種類を選ぶ



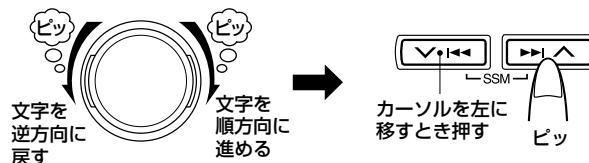
・押すごとに変わります。

カナ → 英大文字 → 英小文字 → 数字・記号

カーソルが文字の種類と交互に点滅します。このときカーソルだけ移動するには、▶▶▶ボタンを押します。

詳しくは42ページの「文字配列表」参照

4 回転ボリューム▶▶▶▶ボタンで局名を入力する



①文字を選び… ②カーソルを右に移す。文字が確定します。

- ・文字を間違えたときは、ボタンでカーソルを戻し回転ボリュームで正しい文字を上書きします。
- ・「AUX INPUT」表示を接続した機器の名称に変更するときには、上書きします。

5 SELボタンを押して確定する



- ・文字を消したいときは、4の操作のとき空白(スペース)を選び確定します。
- ・全て空白(スペース)を入力すると、局名を消すことができます。またDISPボタンを2秒以上押したときも表示を消すことができます。SELボタンを押して確定すると局名を消すことができます。

〈お知らせ〉

- 31局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。使用しない局名は消してください。
- CD TEXTの入っているディスクには、名前はつけられません。

文字配列表

●カナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
—	。	、	(空白)						

●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	\$	%	’	()	*	
+	,	—	.	/	:	;	<	=	>
?	@	—	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- 放送局名の中で・(中黒)と α (アルファ)は、入力できません。

レベルメーターの表示切換

レベルメーターの表示を変える

1 SELボタンを2秒以上押す

2 $\blacktriangleright\blacktriangleright$ I(または $\blacktriangleleft\blacktriangleleft$)ボタンを「ポン・ポン」と押し
て「LEVEL/EQ」を選ぶ

3 回転ボリュームで表示を選ぶ



4 SELボタンを押す

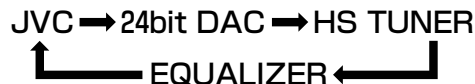
- ・元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓のモードを変える

●表示窓のデモ表示について

本機は、一定時間*無音状態が続くと、自動で以下のようなデモ表示を行います。(お買い上げ時の状態)

デモ表示の内容(順番に表示)



*一定時間とは：

- 初めて電源を入れたときは15秒間
- リセットボタンを押してリセットしたときは15秒間
- 入力信号のない状態(ソースを「AUX」にしているときなど)が3分以上続いたとき

デモ表示を出なくするには、右の説明の「表示窓のデモモードの解除」をご覧ください。

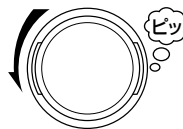
表示窓のデモモードの解除/設定

表示窓のデモ表示を出なくすることができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶(または|◀◀)ボタンを「ポン・ポン」と押して「DEMO MODE」を選ぶ

3 回転ボリュームを左方向に回して「DEMO OFF」にする



・「DEMO OFF」にすると、デモ表示を出なくすることができます。
通常は「DEMO OFF」で使用するをお勧めします。
(元に戻すときは、回転ボリュームを右方向に回して「DEMO ON」にします)

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

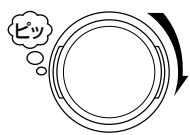
表示窓の明るさ／コントラストを変える — 番号順に操作します。—

表示窓の明るさを変える

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを「ポン・ポン」と押し
て「DIMMER」を選ぶ

3 回転ボリュームを右方向に回してディマーの
モードを選ぶ

 **ピッ**

・左方向に回すと逆
に選べます。

オート : 車のイルミネーションと連動
(お買い上げ時の状態)
(車両のライトを「ON」にすると、
表示窓の明るさも下がります)

あらかじめ「イルミネーション
コード」を車両側のイルミ電源
に接続しておきます。

OFF : ディマー「オフ」
(表示窓の明るさは変わり
ません)

ON : 常時ディマー「オン」
(表示窓の明るさが下がり
ます)

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

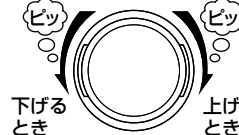
表示窓のコントラストの調節

表示窓の文字表示部が見えにくいときには、コントラストを調節します。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを「ポン・ポン」と押し
て「CONTRAST 5」を選ぶ

3 回転ボリュームでコントラストを調節する

 **ピッ** **ピッ**

下げる
とき

上げる
とき

・「CONTRAST 1～10」までの範囲で調
節できます。運転席から表示窓を見
て、見やすくなるように設定します。

・お買い上げ時は、「CONTRAST 5」に
なっています。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

＜お知らせ＞

- ・コントロールパネルの角度を変えると、コントラストも変わります。

CDタイトルのスクロール表示のモードを変える

スクロール表示のモードを変える

CDタイトルのディスク名または曲名を切換えたとき1回スクロール表示されます。スクロール表示のモードは変えることができます。
(放送局名は、スクロール表示されません)

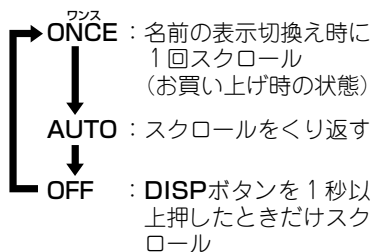
1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶| (または|◀◀) ボタンを「ポン・ポン」と押し
て「スクロールSCROLL」を選ぶ

3 回転ボリュームを回してスクロールのモードを選ぶ



・左方向に回すと
逆に選べます。



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

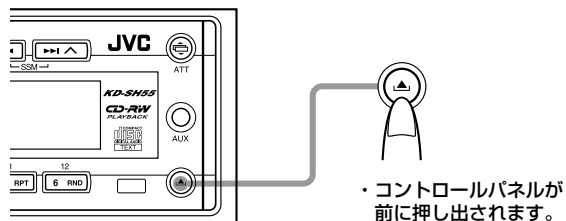
コントロールパネルの着脱

コントロールパネルを外すには

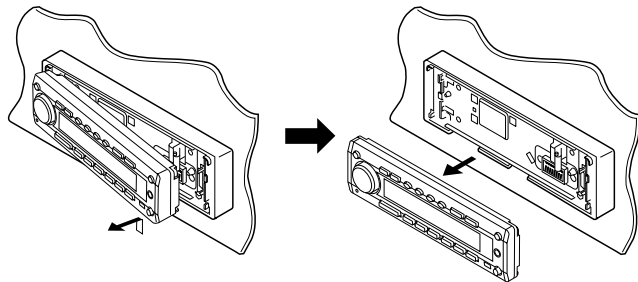
- 1** 電源(電源) ボタンを1秒以上押して電源を切る



- 2** コントロールパネル取り出しボタン(▲)を押す

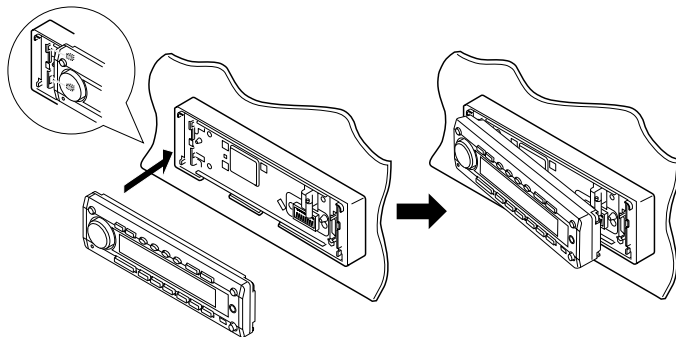


- 3** 前に押し出されたコントロールパネルを外す

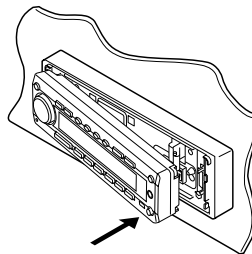


外したコントロールパネルを元に戻すには

- 1** コントロールパネルの左側を本体に合わせていれる



- 2** コントロールパネルの右側を「カチッ」と音がするまで押す



放送局名一覽

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	〃	旭川	85.8MHz
	〃	〃	北見	86.0MHz
	〃	〃	函館	87.0MHz
北海道(AM)	NHK第1	NHKダイ1	札幌	567kHz
	〃	〃	釧路	585kHz
	〃	〃	帯広	603kHz
	〃	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	〃	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	北見	702kHz
	〃	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	室蘭	1,125kHz
	〃	〃	帯広	1,125kHz
	〃	〃	釧路	1,152kHz
NHK第1	NHKダイ1	北見	1,188kHz	
STVラジオ	STVラジオ	旭川	1,197kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	帯広	1,269kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
北海道(AM)	HBCラジオ	HBCラジオ	札幌	1,287kHz	
	〃	〃	稚内	1,368kHz	
	〃	〃	内路	1,404kHz	
	STVラジオ	STVラジオ	札幌	1,440kHz	
	HBCラジオ	HBCラジオ	網走	1,449kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	函館	1,467kHz	
北海道(FM)	HBCラジオ	HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	旭川	1,602kHz	
	FM岩手	FMイワテ	盛岡	76.1MHz	
	FM仙台	Date FM	仙台	77.1MHz	
	エフエム青森	エフエムアオモリ	青森	80.0MHz	
	FM山形	FMヤマガタ	山形	80.4MHz	
	ふくしまFM	フクシマFM	郡山	81.8MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	山形	82.1MHz	
	〃	〃	仙台	82.5MHz	
	FM秋田	FMアキタ	秋田	82.8MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	盛岡	83.1MHz	
	〃	〃	福島	85.3MHz	
	〃	〃	青森	86.0MHz	
	〃	〃	秋田	86.7MHz	
	北海道(AM)	NHK第1	NHKダイ1	盛岡	531kHz
		〃	〃	山形	540kHz
		IBC岩手放送	IBCイワテホウソウ	盛岡	684kHz
		NHK第2	NHKダイ2	秋田	774kHz
NHK第1		NHKダイ1	仙台	891kHz	
北海道(FM)		山形放送	ヤマガタホウソウ	山形	918kHz
	秋田放送	アキタホウソウ	秋田	936kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	青森	963kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	仙台	1,089kHz	
	青森放送	アオモリホウソウ	青森	1,233kHz	
	東北放送	トウホクホウソウ	仙台	1,260kHz	

・2001年3月現在の主な放送局と周波数です。

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
東 北 (AM)	NHK第1	NHKダイ1	福島	1,323kHz
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島	1,458kHz
	NHK第1	NHKダイ1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山形	1,521kHz
	AFN	AFN	沢	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福島	1,602kHz
関 東 地 方 (FM)	インター FM	インターFM	東京	76.1MHz
	FM 栃木	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	ハウソウダイガク	東京	77.1MHz
	BAY-FM	BAY-FM	船橋	78.0MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz
	放送大学	ハウソウダイガク	前橋	78.8MHz
	NACK 5	NACK 5	浦和	79.5MHz
	TOKYO FM	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	〃	千葉	80.7MHz
J-WAVE	J-WAVE	東京	81.3MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	前橋	81.6MHz
〃	〃	〃	横浜	81.9MHz
〃	〃	〃	東京	82.5MHz
〃	〃	〃	水戸	83.2MHz
FMヨコハマ	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	浦和	85.1MHz
FM群馬	FMゲンマ	前橋	86.3MHz	
関 東 地 方 (AM)	NHK第1	NHKダイ1	東京	594kHz
	NHK第2	NHKダイ2	〃	693kHz
	AFN	AFN	〃	810kHz
	TBSラジオ	TBSラジオ	〃	954kHz
	文化放送	ブンカハウソウ	〃	1,134kHz
	茨城放送	イバラキハウソウ	水戸	1,197kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
關 東 地 方 (AM)	ニッポン放送	ニッポンハウソウ	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	ラジオニッポン	横浜	1,422kHz
	栃木放送	トチギハウソウ	宇都宮	1,530kHz
中 部 地 方 (FM)	FM福井	FMフクイ	福井	76.1MHz
	FM新潟	FMニイガタ	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	新潟県民エフエム	FM Port	新潟	79.0MHz
	K-MIX	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	FMナガノ	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	ギフ FM	高山	80.0MHz
	FM石川	FM イシカワ	金沢	80.5MHz
	FM AICHI	FMA	名古屋	80.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	富山	81.5MHz
	〃	〃	金沢	82.2MHz
	〃	〃	新潟	82.3MHz
	〃	〃	名古屋	82.5MHz
FM とやま	FM トヤマ	富山	82.7MHz	
FM-FUJI	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	福井	83.4MHz
〃	〃	〃	岐阜	83.6MHz
〃	〃	〃	長野	84.0MHz
〃	〃	〃	甲府	85.6MHz
〃	〃	〃	静岡	88.8MHz
中 部 地 方 (AM)	NHK第2	NHKダイ2	静岡	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	富山	648kHz
	〃	〃	名古屋	729kHz
	北日本放送	キタニホンハウソウ	富山	738kHz
	YBSラジオ	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	NHKダイ1	長野	819kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中部地方(A・M)	NHK第1	NHKダイ1	新潟	837kHz
	福井放送	フクイホウソウ	福井	864kHz
	NHK第1	NHKダイ1	静岡	882kHz
	NHK第2	NHKダイ2	名古屋	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	福井	927kHz
	∕	∕	甲府	927kHz
	NHK第2	NHKダイ2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	シンエツホウソウ	長野	1,098kHz
	北陸放送	ホクリクホウソウ	金沢	1,107kHz
	新潟放送	ニイガタホウソウ	新潟	1,116kHz
	NHK第1	NHKダイ1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	トウカイラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	NHKダイ2	金沢	1,386kHz
	静岡放送	シズオカホウソウ	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	ギフラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長野	1,467kHz
∕	∕	福井	1,521kHz	
∕	∕	新潟	1,593kHz	
∕	∕	甲府	1,602kHz	
近畿地方(F・M)	FM CO・CO・LO	CO・CO・LO	生駒	76.5MHz
	E-Radio	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	姫路	77.6MHz
	FM 三重	FM ミエ	津	78.9MHz
	FM 802	FM 802	大阪	80.2MHz
近畿地方(F・M)	NHK-FM	NHK-FM	津	81.8MHz
	∕	∕	京都	82.8MHz
	∕	∕	大津	84.0MHz
	∕	∕	和歌山	84.7MHz
	FM 大阪	fm osaka	大阪	85.1MHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
近畿地方(F・M)	NHK-FM	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	∕	∕	奈良	87.4MHz
	∕	∕	大阪	88.1MHz
近畿地方(A・M)	FM 京都	α-STATION	京都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	神戸	89.9MHz
	AM KOBE	AM KOBE	神戸	558kHz
	NHK第1	NHKダイ1	京都	621kHz
	∕	∕	大阪	666kHz
中国地方(F・M)	NHK第2	NHKダイ2	大阪	828kHz
	ABCラジオ	ABCラジオ	∕	1,008kHz
	KBS京都	KBSキョウト	京都	1,143kHz
	MBSラジオ	MBSラジオ	大阪	1,179kHz
	ラジオ大阪	ラジオオオサカ	∕	1,314kHz
和歌山放送	ワカヤマホウソウ	和歌山	1,431kHz	
中国地方(F・M)	岡山エフエム放送	FMオカヤマ	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	エフエムサンイン	松江	77.4MHz
	広島FM	ヒロシマFM	広島	78.2MHz
	FM 山口	FMヤマグチ	山口	79.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	松江	84.5MHz
	∕	∕	山口	85.3MHz
	∕	∕	鳥取	85.8MHz
エフエム山陰	エフエムサンイン	浜島	86.6MHz	
NHK-FM	NHK-FM	広島	88.3MHz	
∕	∕	岡	88.7MHz	
中国地方(A・M)	NHK第1	NHKダイ1	岡山	603kHz
	∕	∕	山口	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	広島	702kHz
	山口放送	ヤマグチホウソウ	徳山	765kHz
	山陰放送	サンインホウソウ	米子	900kHz
NHK第1	NHKダイ1	下関	1,026kHz	

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中国地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	広島	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	NHKダイ1	松江	1,296kHz
	中国放送	チュウゴクハウソウ	広島	1,350kHz
	NHK第1	NHKダイ1	鳥取	1,368kHz
中国地方(FM)	NHK第2	NHKダイ2	山口	1,377kHz
	山陽放送	サンヨウハウソウ	岡山	1,386kHz
	AFN	AFN	山口	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	松江	1,593kHz
	四国地方(FM)	FM香川	FMカガワ	高松
FM愛媛		FMエヒメ	松山	79.7MHz
FM徳島		FMトクシマ	徳島	80.7MHz
FM高知		FMコウチ	高知	81.6MHz
NHK-FM		NHK-FM	徳島	83.4MHz
四国地方(AM)	高知放送	コウチハウソウ	高知	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	徳島	945kHz
	山陽放送	サンヨウハウソウ	松山	963kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高知	990kHz
	南海放送	ナンカイハウソウ	高松	1,035kHz
四国地方(AM)	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,116kHz
	四国放送	シコクハウソウ	徳島	1,152kHz
	NHK第1	NHKダイ1	高松	1,269kHz
	西日本放送	ニシニホンハウソウ	高松	1,368kHz
	NHK第2	NHKダイ2	松山	1,449kHz
			松山	1,512kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(FM)	Love FM	Love FM	福岡	76.1MHz
	FM中九州	FMナカキュウシュウ	熊本	77.4MHz
	FM佐賀	FMサガ	佐賀	77.9MHz
	CROSS FM	CROSS FM	福岡	78.7MHz
	SMILE-FM	SMILE-FM	長崎	79.5MHz
	FM鹿児島	FMカゴシマ	鹿児島	79.8MHz
	FM福岡	FMフクオカ	福岡	80.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	FM宮崎	FMミヤザキ	宮崎	83.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	長崎	84.5MHz
九州地方(AM)	山陽放送	サンヨウハウソウ	福岡	84.8MHz
	NHK-FM	NHK-FM	熊本	85.4MHz
	山陽放送	サンヨウハウソウ	福岡	85.6MHz
	NHK-FM	NHK-FM	鹿児島	85.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	北九州	85.7MHz
九州地方(AM)	山陽放送	サンヨウハウソウ	福岡	86.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	佐世保	86.0MHz
	山陽放送	サンヨウハウソウ	宮崎	86.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	大分	88.0MHz
	山陽放送	サンヨウハウソウ	大分	88.9MHz
九州地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	宮崎	540kHz
	山陽放送	サンヨウハウソウ	鹿児島	576kHz
	NHK第1	NHKダイ1	福岡	612kHz
	NHK第1	NHKダイ1	大分	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	長崎	684kHz
九州地方(AM)	山陽放送	サンヨウハウソウ	熊本	756kHz
	NHK第2	NHKダイ2	熊本	873kHz
	宮崎放送	ミヤザキハウソウ	宮崎	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	佐賀	963kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福岡	1,017kHz
九州地方(AM)	大分放送	オオイタハウソウ	大分	1,098kHz
	南日本放送	ミナミニホンハウソウ	大分	1,107kHz
	熊本放送	クマモトハウソウ	熊本	1,197kHz

市販のパワーアンプだけで鳴らすとき

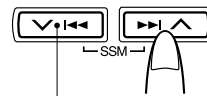
市販のパワーアンプだけで鳴らす

本機は内蔵のパワーアンプの「ON↔OFF」が選べます。内蔵パワーアンプを「OFF」にすると、発熱量が抑えられクリアな音を楽しむことができます。

外部アンプの接続が終わったら、電源を入れ次の操作をします。

1 SELボタンを2秒以上押す

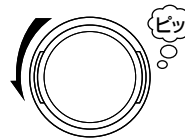
2 ▶▶I(または)◀◀ ボタンを「ポン・ポン」と押し て「P. AMP SW」を選ぶ



逆にも選べます。 ピッ

➔ P. AMP SW

3 回転ボリュームを左方向に回して 「P. AMP OFF」にする



P. AMP ON
↓
P. AMP OFF

・「P. AMP ON」に戻すときは右方向に回します。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(A・M)	長崎放送	ナガサキホウソウ	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	NHKタイ2	長崎	1,377kHz
	∕	∕	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	NHKタイ2	大分	1,467kHz
∕	∕	宮崎	1,467kHz	
AFN	AFN	佐世保	1,575kHz	
沖縄(F・M)	FM 沖縄	FM オキナワ	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN-沖縄	FM AFN	∕	89.1MHz
沖縄(A・M)	NHK第1	NHKダイ1	沖縄	549kHz
	AFN	AFN	∕	648kHz
	琉球放送	リュウキュウホウソウ	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	ラジオオキナワ	∕	864kHz
	NHK第2	NHKタイ2	∕	1,125kHz

・2001年3月現在の主な放送局と周波数です。

保証書とアフターサービス

●保証書の記載内容ご確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

●補修用性能部品の保有期間について

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、故障かどうか再度お調べください。
2. それでも正しく動作しないときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

・ JVC CDレシーバー：KD-SH55

・ お名前とおとこ

・ 電話番号

・ 故障の状態(詳しく)：例 CDの演奏音が出ない。

別売りアクセサリー

・ クリーニングキット：CK-25(CD用)

・ RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)

CN-510E(長さ1m)

CN-520E(長さ2m)

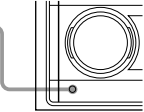


・ 接続コード(ステレオミニプラグ)：CN-203A(長さ1.5m)

・ 変換コード：KS-U57

故障かな？と思う前に

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	・ 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・ リセットボタンを押してリセットする。  (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)
「NO DISC」または「EJECT ERR」が表示されCDの取り出しができない。	・ CDの入れかたが正しくなかったため。	・  ボタンを押したまま  (ディスク取出し) ボタンを同時に2秒以上押す。CDが飛び出しますので落とさないよう、ご注意ください。
演奏が始まらない。	・ CDが裏返しに入っている。 ソース(音源)の表示が「CD PLAY」にはなりません。	・ 文字のある面が上になるように正しく入れる。
CDの演奏音が途切れる。	・ CDが汚れている。	・ 柔らかい乾いた布で演奏面を清掃する。
FM/AM放送がうまく受信できない。	・ 車両のオートアンテナコントロール端子(またはアンテナアンプ電源端子)に <u>オートアンテナコード</u> が接続されていない。	・ <u>オートアンテナ</u> コードを接続する。
FM/AM放送の雑音が多い。	・ 放送局の周波数に正しく合っていない。	・ 放送局に正しく合わせる。

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り
(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)
- エラー訂正方式：クロスインターリーブリードソロモンコード
- チャンネル数：2チャンネル
- 周波数特性：5 Hz~20kHz
- ダイナミックレンジ：99dB
- S N 比：102dB
- ワウ・フラッター：測定限界以下

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
 - 受信周波数：76.0MHz~90.0MHz
 - 実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
 - 受信周波数：522kHz~1,629kHz
 - 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

グライコ部

- グライコ中心周波数：LOW …50Hz、80Hz、120Hz
MID …700Hz、1 kHz、2 kHz
HIGH …8 kHz、12kHz
- コントロール範囲： $\pm 12\text{dB}$ (2 dBステップ)
- メーカープリセットモード：ハードロック、リズム&ブルース、ポップ、ジャズ、ダンスミュージック、カントリー、レゲエ、クラシック

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W (4 Ω 、1 kHz)
リア 50W+50W (4 Ω 、1 kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ~8 Ω で使用可能)
- 入力端子：DINジャック(8ピン)×1、CDチェンジャー
(またはカーAV機器)接続用
AUX($\Phi 3.5$ ステレオミニ)×1
- 出力端子：LINE OUT(2系統)、2.0V/1k Ω
EXT OUT(1系統)
スピーカーコード(2系統、ギボシ型)

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V~16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 時刻表示：12時間表示法
- 時付寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行161mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行179mm
- 質量：約1.8kg(付属品含まず)

付属品

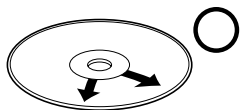
- ・ リモコン (RM-RK100) 1
- ・ 電池 (CR2025) 1
- ・ 接続コード (16ピンコネクタ) 1
- ・ ネジ (M5 × 6 mm) 4
- ・ 皿ネジ (M5 × 6 mm) 4

お手入れ

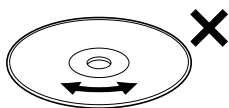
CD(コンパクトディスク)のお手入れ

マガジンに入れる前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
カーオーディオお客様ご相談センター

別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧ください。

☎ (027) 252-5145
FAX (027) 254-8927 (ダイヤルイン)
受付時間 10:00~18:00
(土、日、祝日、当社休日を除く)
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

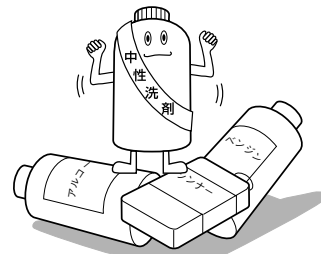
本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。

汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎ ダイヤルイン (027) 254-8926